

令和6年度第1回名取市障がい者等地域づくり協議会全体会 議事録

1. 日 時 令和6年7月24日(水) 午後1時30分～午後3時5分
1. 場 所 名取市役所3階第1、2委員会室
2. 出席者 <委員>14名  
相澤 喜美委員、今野 幸信委員、丹野 美香委員、加藤 公一委員  
奈尾 隆平委員、佐藤 宏郎委員、飯田 謙一委員、山川 美和子委員  
酒井 道代委員、矢澤 ユキ江委員、齋藤 未和子委員  
小野寺 正道委員、服部 博委員、千葉 伸彦委員  
※欠席委員 白江 浩委員  
<事務局>6名  
安倍部長、大元課長、高橋課長補佐、菅原係長、今野技術主査、四ノ宮  
<傍聴者>3名
3. 概 要 別紙の通り

# 令和6年度第1回名取市障がい者等地域づくり協議会全体会

進行：菅原係長

## 1. 開 会

## 2. あいさつ 副市長 我妻 諭

自己紹介 委員および事務局

○審議会等の会議の公開について

→「名取市審議会等の会議に関する要綱」により、原則公開となっています。会議の日程等をホームページなどにも掲載し、傍聴していただくものとしています。情報開示請求があった場合、委員名簿と会議録を公開します。会議録については、概要記録の方法で記録させていただきます。

## 3. 報告・協議

- (1) 協議会会長及び副会長の選出について 進行：菅原係長  
議長：千葉会長

- (2) 令和6年度の体制及び取組みについて …資料1（今野技術主査）  
名取市地域生活支援拠点課題等詳細について

- (3) 令和6年度専門部会、連絡会の活動計画について

- ・相談支援部会 …資料2（熊谷相談支援専門員）
- ・くらし部会 …資料3（佐藤相談支援専門員）
- ・相談支援連絡会 …資料4（板橋相談支援専門員）
- ・就労連絡会 …資料5（大山管理者）
- ・グループホーム連絡会 …資料6（奈尾委員）
- ・精神保健医療福祉連絡会 …資料7（奈尾委員）
- ・こども福祉連絡会 …資料8（板橋相談支援専門員）

〈質疑応答〉

今野副会長：令和6年度の活動計画報告だけでは、どの部分を変更したのかが分からない。

次回からは前年度の活動計画も合わせて報告していただきたい。

菅原係長：次回以降、資料の構成について工夫して対応したい。

奈尾委員：くらし部会では短期入所事業所が参加されているが、参加している事業所数を確認したい。また、緊急時ショートステイ事業の強化を行うにあたり、他の短期入所事業所に声かけをする予定はあるのか。くらし部会では移動支援事業についても協議する場であることから、協議の内容によっては移動支援事業所に声かけをしていく予定はあるのか。くらしに係る事業所の巻き込みはしていくのか。

佐藤くらし部会長：短期入所事業所は一カ所のみ参加となっている。参加事業所に関して追加での声かけは現在行っていなかったため、くらし部会の中で検討させていただきたい。

山川委員：くらし部会の活動内容が例年同じではないか。ニーズの掘り出しをどのようにしているのかが見えてこない。継続で審議するのは良いが、活動の内容やその進捗を添付資料等を用いて具体的に知らせていただきたい。また、くらし部会に手をつなぐ育成会の会員も当事者として参加しているところではあるが、その他の形で外部で抱えている問題の引き出し方を模索してほしい。

菅原係長：資料の具体化に関しては、次年度以降検討させていただく。問題の引き出しに関しては、現在当事者に近い存在として各事業所の相談支援専門員に参加していただいております、ニーズの引き出しにつなげている。新しいニーズの引き出し方に関しては今後検討していきたい。

今野副会長：障害福祉計画の進捗管理について、どのように考えているのか。また、地域づくり協議会に予算の配分を行うことを検討いただけないか。

菅原係長：障害福祉計画の進捗報告は、三年度分まとめた報告となっている。今年度から新しい計画で動いているところであるため、報告の形に関しては今後検討していきたい。また、地域づくり協議会の提案事業で市の予算が配分されている事業はないため、今後検討していきたい。

#### 4. 名取市基幹相談支援センターについて（基幹 板橋所長）

##### ●令和5年度名取市基幹相談支援センター活動報告 …資料9

令和5年6月に開所し、約一年活動を行ってきた。月平均40件の相談を受けており、相談内容としては障害福祉サービスに関するものが最も多い。令和5年度の活動内容として、相談支援事業所の後方支援、地域の支援体制整備、地域移行・地域定着の実践、障害者虐待に関する通報・届出の受付・相談等を行った。活動の中で地域の事業所から課題として上がった意見としては、児童のセルフプラン率の高さ、相談支援専門員の不足、相談支援のすみわけの整理等であり、それらに対する取組みの実施や検討を今後も行っていく予定である。

##### ●令和6年度名取市基幹相談支援センター活動報告 …資料10

令和5年度に引き続き、総合支援の実施、地域の事業所に出向いての後方支援、事例検討会による相談支援専門員のスキルアップ、精神科病院との関係構築及び普及啓発、成年後見制度に関する個別相談の実施、地域での成年後見制度の周知、市と連携しての障害者虐待に関する通報・届出の受理等に取り組んでいく。

#### 〈質疑応答〉

今野副会長：高齢者の増加に伴い、成年後見制度の重要性が高まってきている。事業所に対し、法改正も見据えた成年後見制度の周知も行っていただけないか。

板橋所長：事業所に対する、法改正も見据えた成年後見制度の周知方法については検討していきたい。

#### 5. なとり児童発達支援センターについて …資料（稲垣相談支援室長）

子どもたち一人一人が自身で望ましい未来を作り出していけるようにサポートすることを理念として掲げ、今年度開所し活動している。センターの3つの柱として児童発達支援、障害児相談支援、保育所等訪問支援を行っている。またセンターの特徴的な取り組みとして、カフェスパイト、先輩ママのお話を聞く会を開催している。今後とも協力をお願いしたい。

## 6. 仙台公共職業安定所から情報提供

### ●資料「障害者の職業紹介業務取扱状況」に基づき説明（別紙）

- ・有効求職者は令和6年5月末現在、合計3145名となっている。有効求職者の障害部位別割合としては精神障害が53%と半分以上を占めており、月を追うごとに精神障害者の数が増えている状況。
- ・平成27年度から令和5年度にかけての新規求職者数・就職件数については、精神障害者に関しては右肩上がりとなっており、その他身体・知的障害者等に関してはおおむね横ばいで推移している。

### ●ふれあいワークフェア・障害者就職面接会についての周知（別紙）

令和6年9月30日に仙台国際センターで、事業所向け障害者雇用促進セミナー・障害者就職面接会を開催予定である。障害者雇用促進セミナーの案内はすでに終了しており、52社が参加予定。障害者就職面接会の参加企業数は60社となっている。求職者向けの周知については現在準備中であり、8月上旬を予定している。

## 7. 各関係機関との情報交換

千葉会長より

- ・東北福祉大学では事業所と協働し、大学敷地内での事業所による移動販売を実施している。販売するものに関しては大学との協議が必要となるが、参加を希望する事業所があればお声がけいただきたい。
- ・親亡き後の支援に関して、仙台市ではNPOが立ち上がりソーシャルワーカーとファイナンシャルプランナーによる、ひきこもりや障害者の親に対する勉強会を実施している。ファイナンシャルプランナーがあと何年で預貯金が尽きるのかを提示するNPOもあり、経済状況を知ることによって当事者が一歩踏み出すきっかけとなったという声も聞かれた。協力が必要な際にはお声がけいただきたい。
- ・大学側としては学生に障害福祉分野に進んでほしいという思いがあるが、障害福祉分野に就職する学生が少ないというのが現状である。在学生や卒業生から話を聞くと、障害福祉分野との接点が少ないという声があった。このことから、現在大学では高校生が大学生と共にボランティアを行う機会を作ることを検討している。接点を増やすことにより障害福祉分野への就職に繋げていきたいと考えているため、今後とも協力の程、引き続きよろしくお願ひしたい。

## 8. その他

- ・市内の社会資源シート、緊急時ショートステイ事業所一覧について（今野技術主査）
- ・次回全体会（令和6年度第2回）について、令和7年3月中頃から下旬の予定で考えている。（今野技術主査）

## 9. 閉 会